

---

# グリーンファイナンス市場の動向について

---

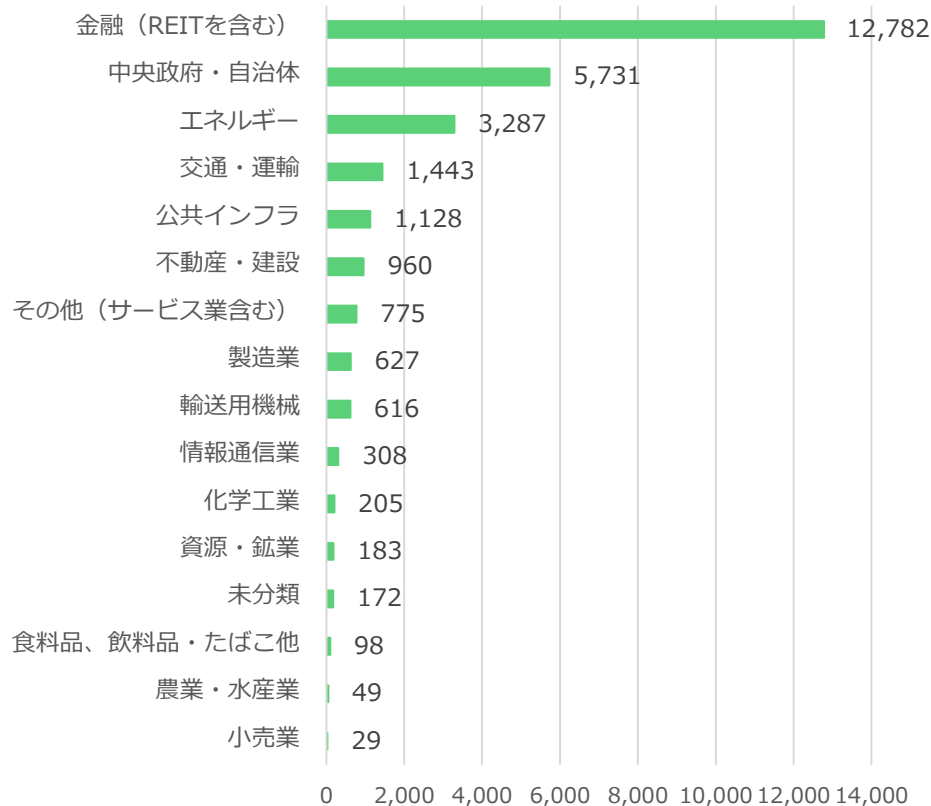
2024年2月8日

環境省 大臣官房 環境経済課 環境金融推進室

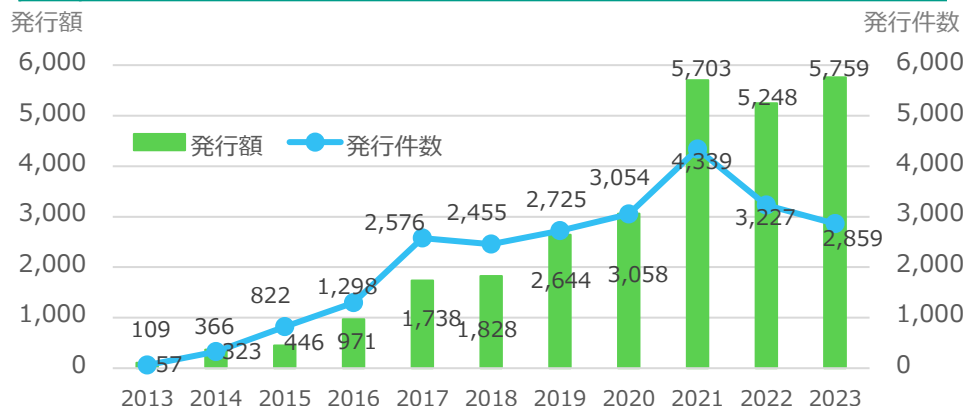
# 世界のグリーンボンド発行動向

- 2023年12月末時点で、発行額は前年比110%（過去最高）、発行件数は前年比89%となった。累積発行額の45%が金融セクター（REITを含む）による発行。
- 資金用途は、再エネ、省エネ、グリーンビル、グリーン運輸が多いが、その他セクターへも定着してきている。

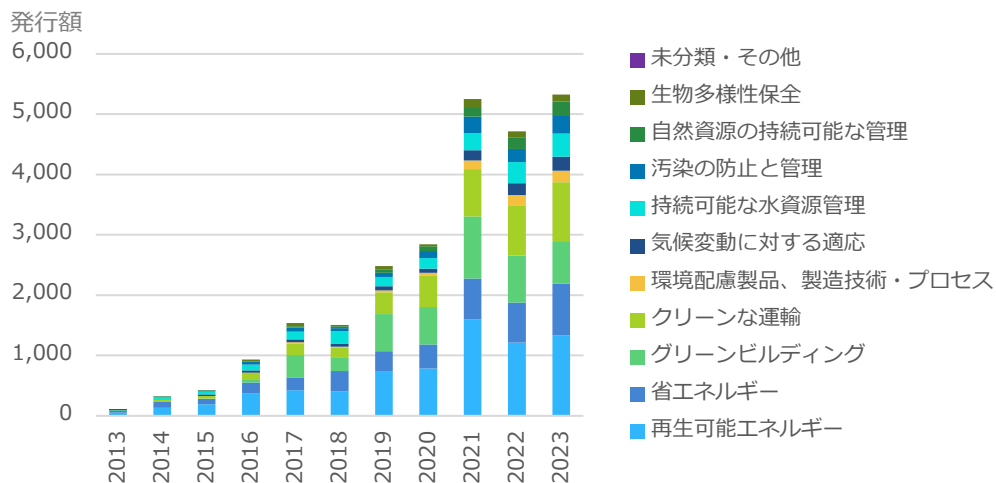
### 発行体業種別累積発行額（億米ドル）



### 発行額推移（億米ドル）



### 資金用途別推移（億米ドル）

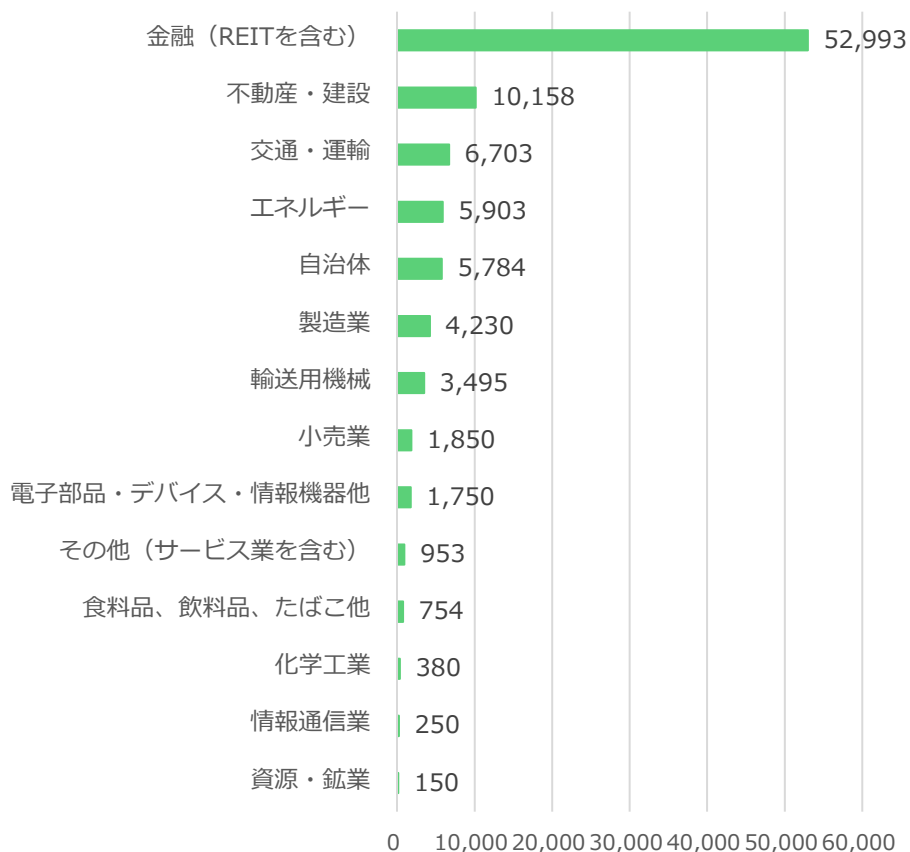


\*発行体セクター分類において、データベース上1番目に記載されたセクターを基に分類。1番目に「その他」とあり、その他特定のセクターも記載されている場合には、2番目に記載されたセクターに分類

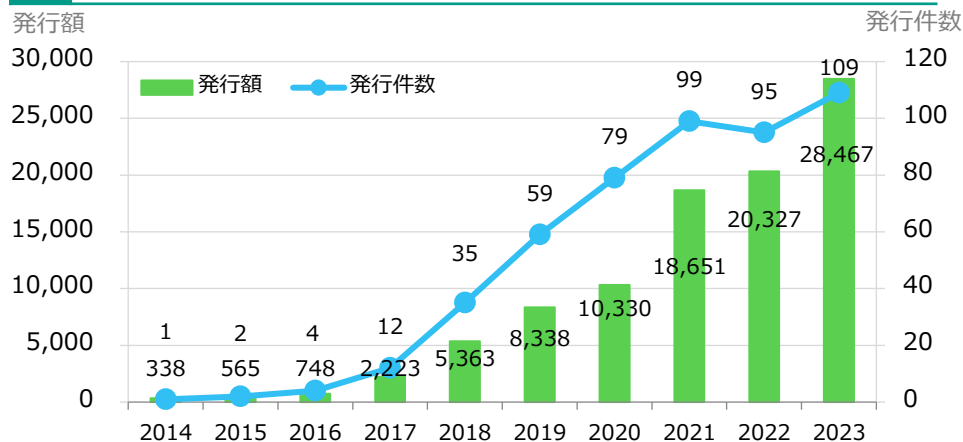
# 国内のグリーンボンド発行動向

- 2023年12月末時点で発行額が前年比140%、発行件数は前年比115%の発行状況となっている。
- 資金使途では世界同様に再エネ関連が最も多いが、グリーンビルディングが25%と2番目であり、世界と比較して多くなっている。

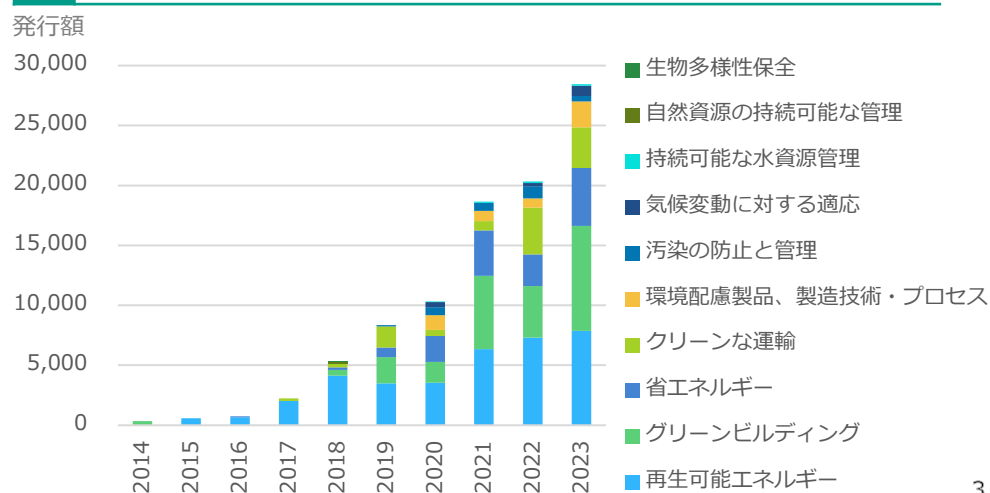
発行体業種別累積発行額（億円）



発行額推移（億円）



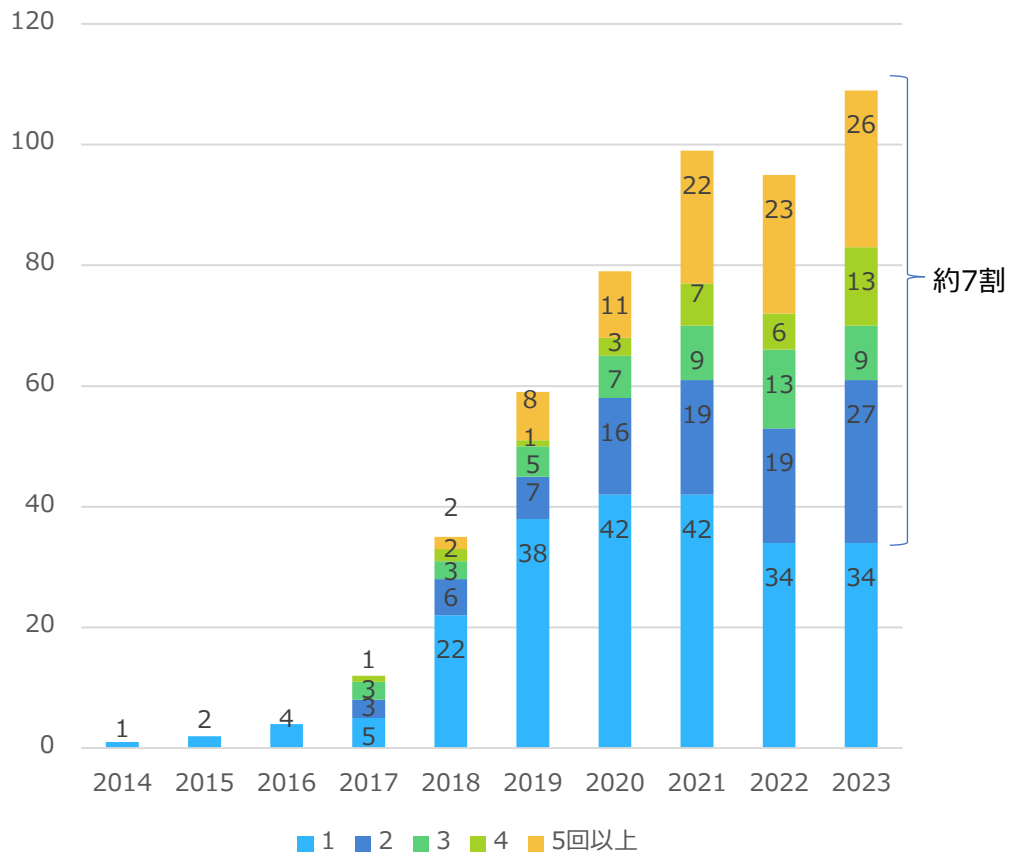
資金使途別推移（億円）



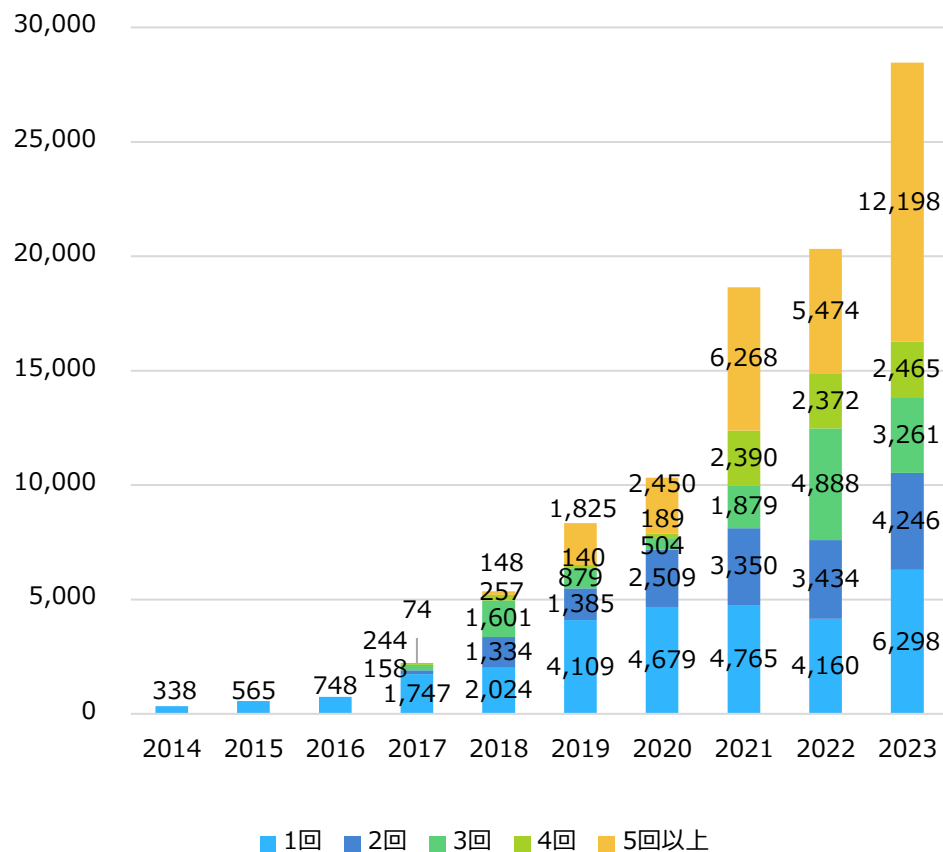
# 国内のグリーンボンド発行状況分析（発行回数別推移）

- 発行経験がある主体によるグリーンボンド発行は近年件数・金額ともに増加している。
- 一方、新規発行体のグリーンボンド発行件数は横ばいとなっている。

発行回数別発行件数推移（件）



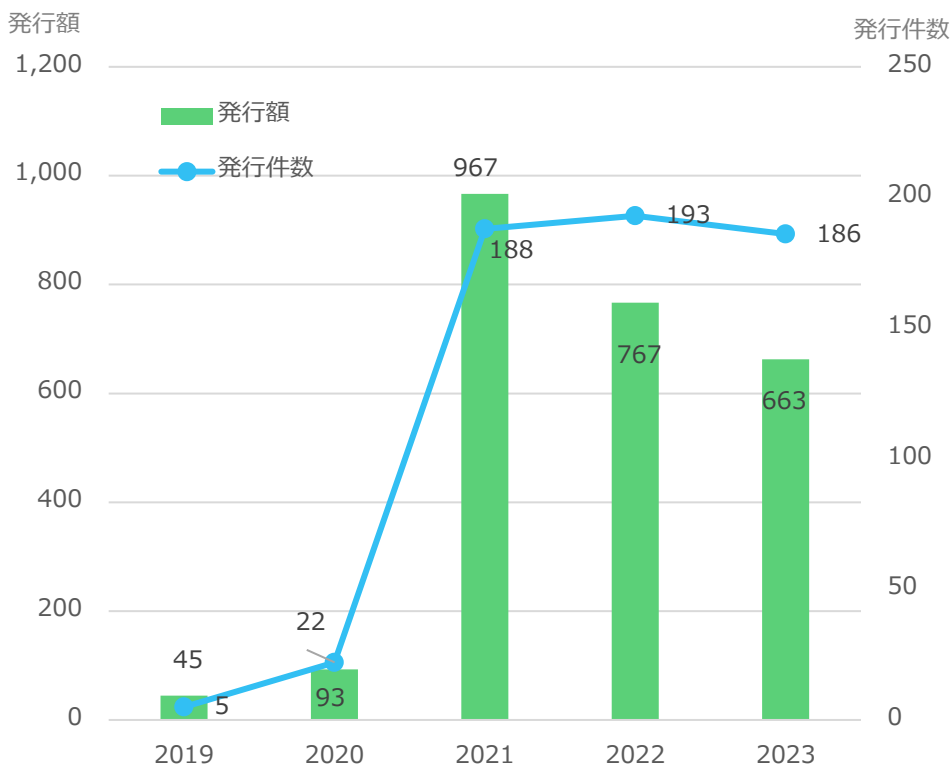
発行回数別発行金額推移（億円）



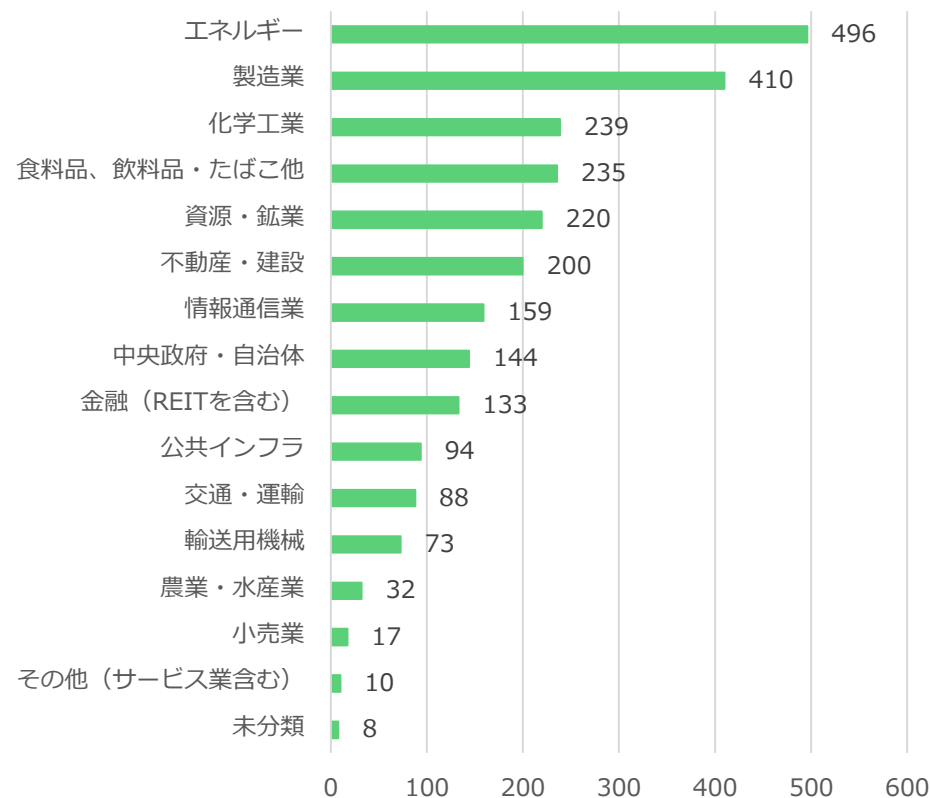
# 世界のサステナビリティ・リンク・ボンド発行額推移

- 過去3年で発行額は減少傾向にあるが、発行件数はほぼ横ばいである。2023年12月末時点で発行額は前年比86%、発行件数は前年比96%に減少した。
- 累積発行額で見ると、発行体の業種別では、エネルギー、製造業、化学工業の順に発行額が多い。

発行額推移 (億米ドル)



発行体業種別累積発行額 (億米ドル)

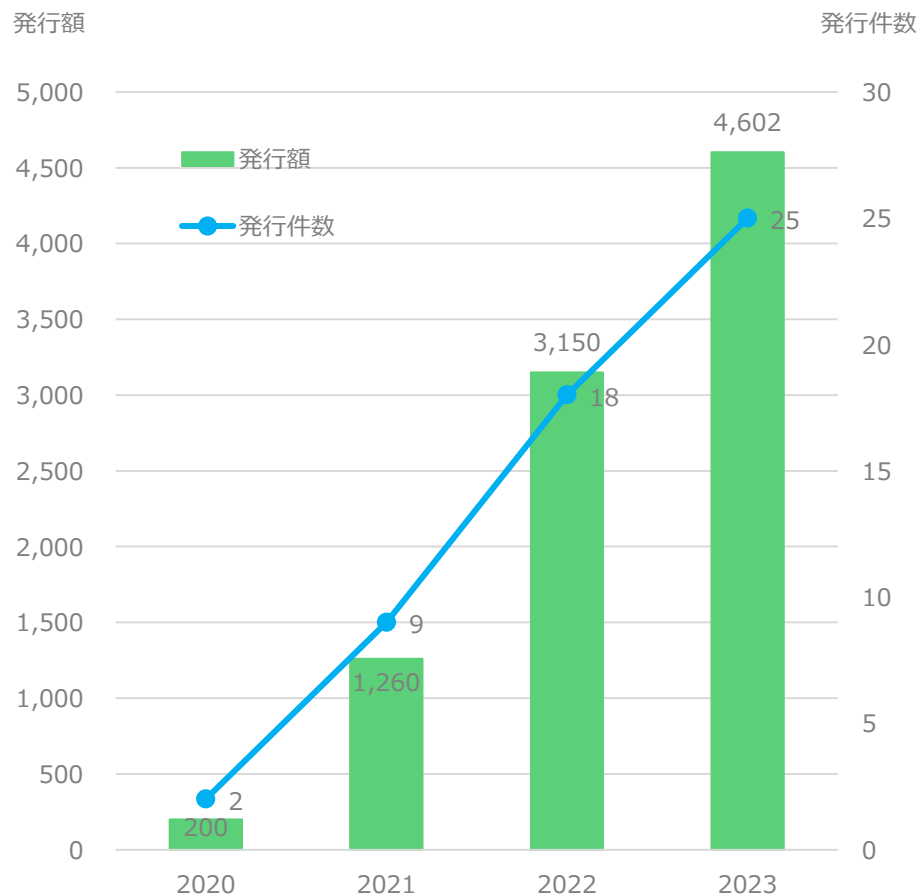


\*発行体セクター分類において、データベース上1番目に記載されたセクターを基に分類。1番目に「その他」とあり、その他特定のセクターも記載されている場合には、2番目に記載されたセクターに分類

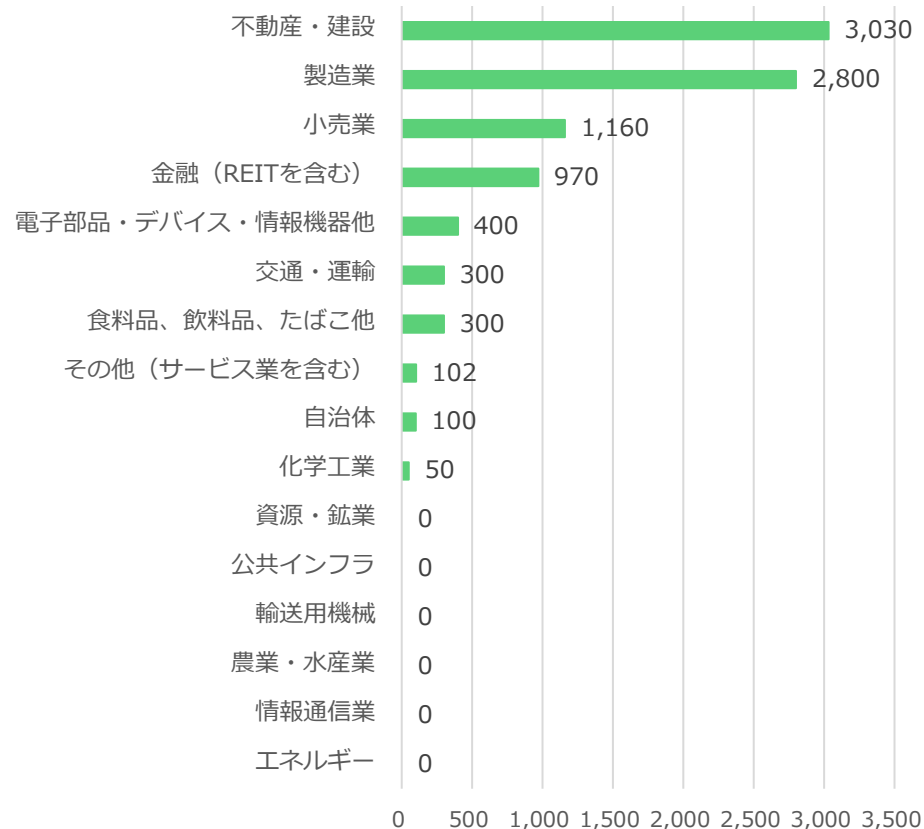
# 国内のサステナビリティ・リンク・ボンド発行額推移

- 国内発行金額は2022年に続き増加傾向で、2023年12月末時点で前年比146%となっている。
- 業種別では世界と異なり、エネルギーの発行額が小さいのに対して、不動産・建設、小売業での発行額が多い。

発行額・件数推移（億円）



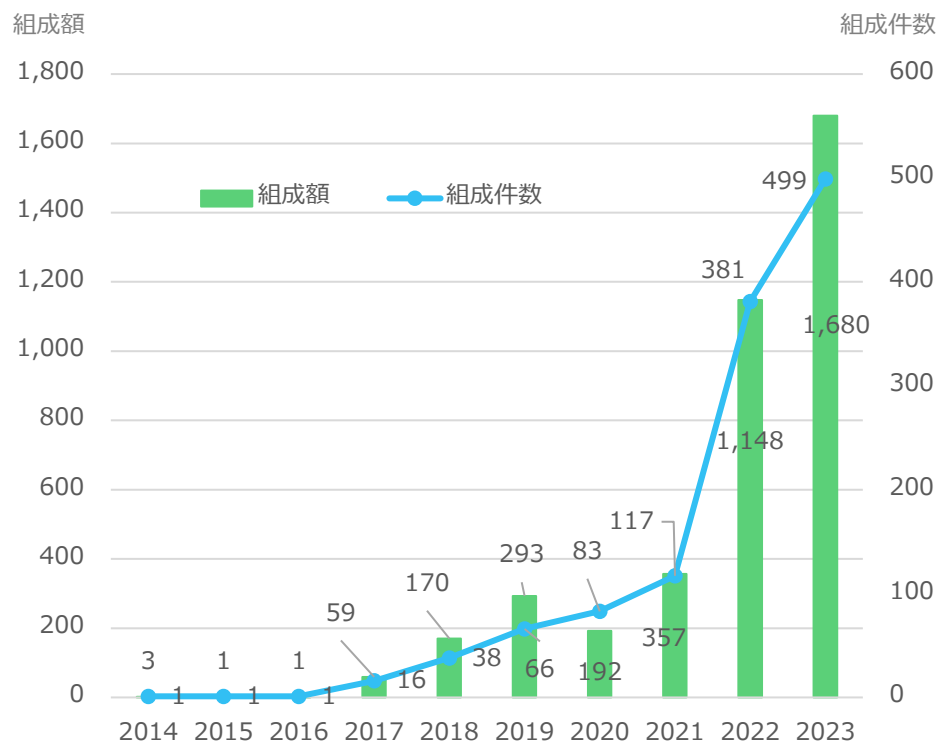
発行体業種別累積発行額（億円）



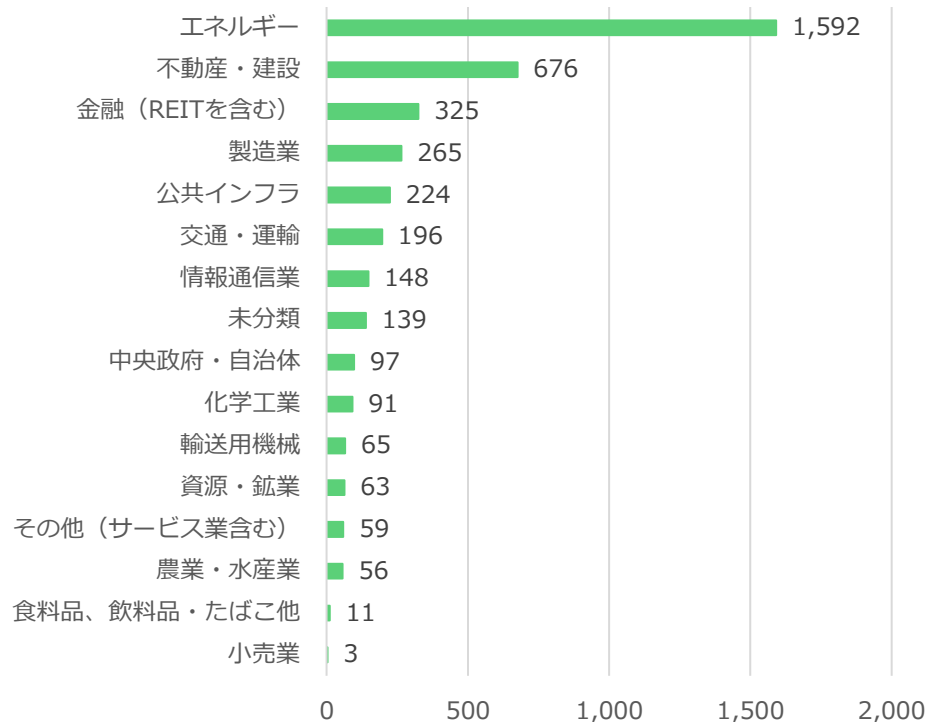
# 世界のグリーンローン組成動向

- 2022年以降、組成額・件数が急激に増加。2023年12月末時点で組成額は前年比146%、組成件数は前年比131%に増加した。
- 累積組成額で見ると、借り手業種別には、エネルギー、不動産・建設、金融（REITを含む）の順に組成額が多い。

組成額推移（億米ドル）



借り手業種別累積組成額（億米ドル）

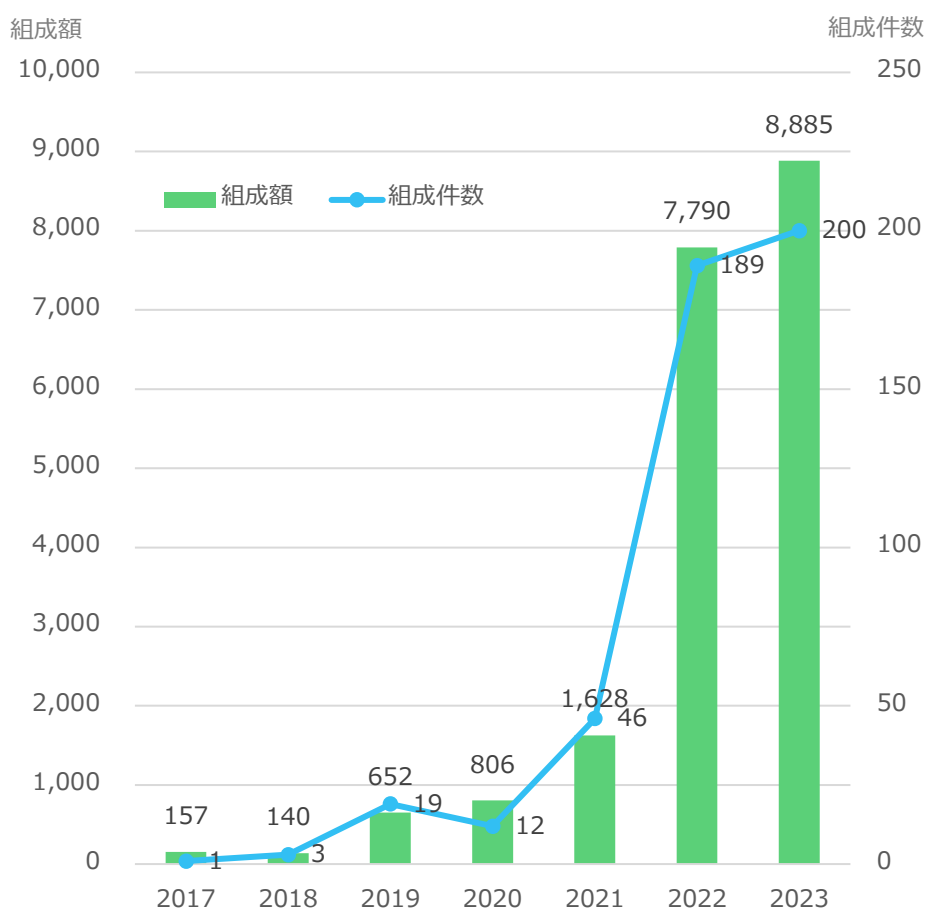


\*借り手セクター分類において、データベース上1番目に記載されたセクターを基に分類。1番目に「その他」とあり、その他特定のセクターも記載されている場合には、2番目に記載されたセクターに分類

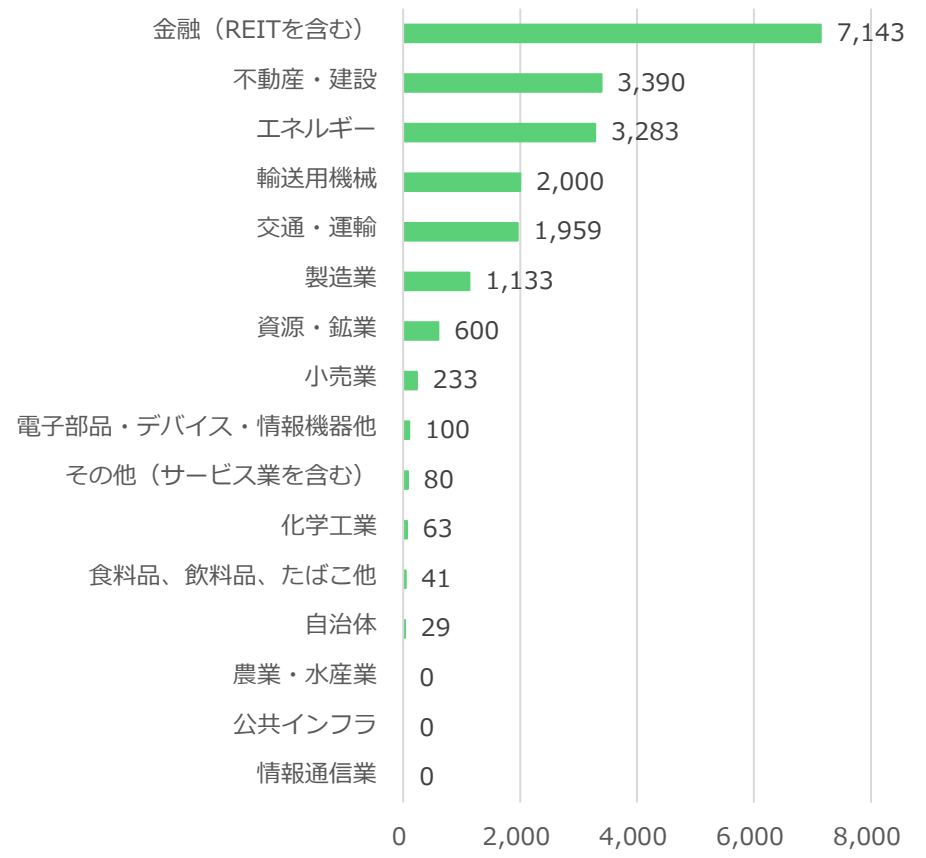
# 国内のグリーンローン組成動向

- 2022年と比較して増加傾向は鈍化しており、2023年12月末時点で組成金額は前年比114%、発行件数は106%となっている。
- 業種別には金融（REIT含む）、不動産・建設、エネルギーの順に多い。

組成額推移（億円）



借り手業種別累積組成額（億円）



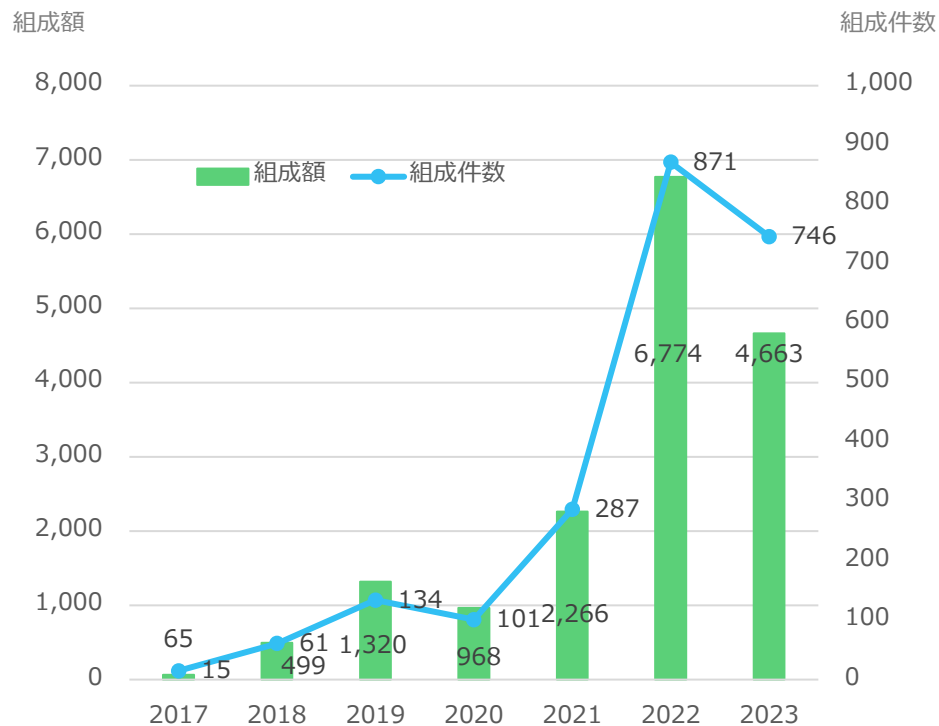
\*金額情報が非開示案件（63件）は件数のみカウント  
 出所 環境省，グリーンファイナンスポータル（2023年12月18日時点）



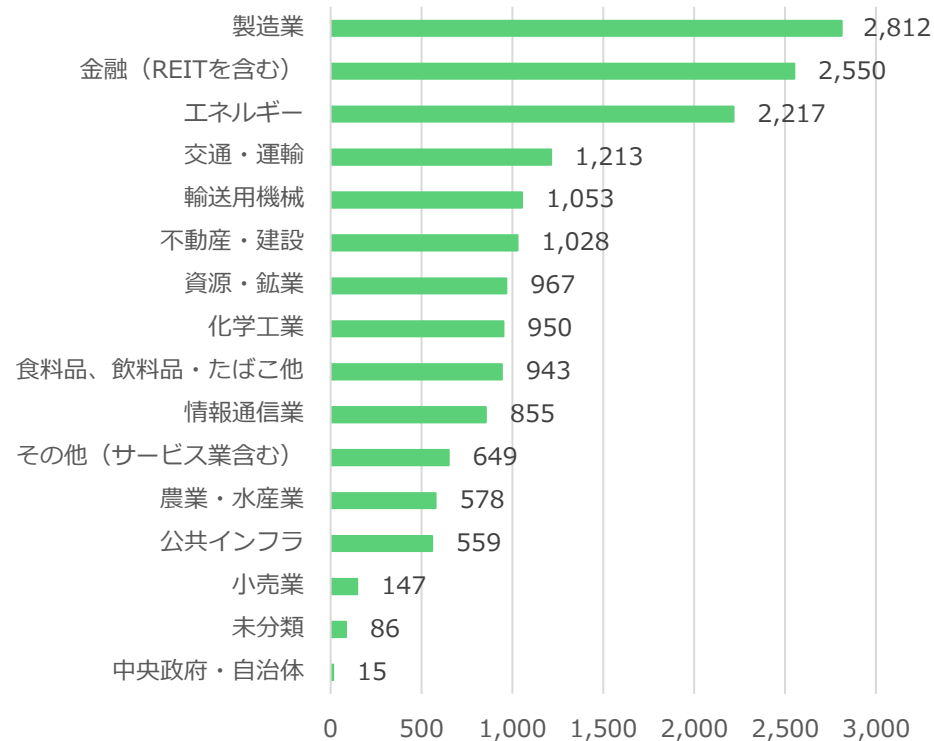
# 世界のサステナビリティ・リンク・ローン組成動向

- 2023年12月末時点で、組成額は前年比69%、組成件数は前年比86%にとどまった。
- 累積組成額で見ると、発行体業種別には製造業、金融（REITを含む）、エネルギー、交通・運輸の順に組成額が多い。

組成額推移（億米ドル）



借り手業種別累積組成額（億米ドル）

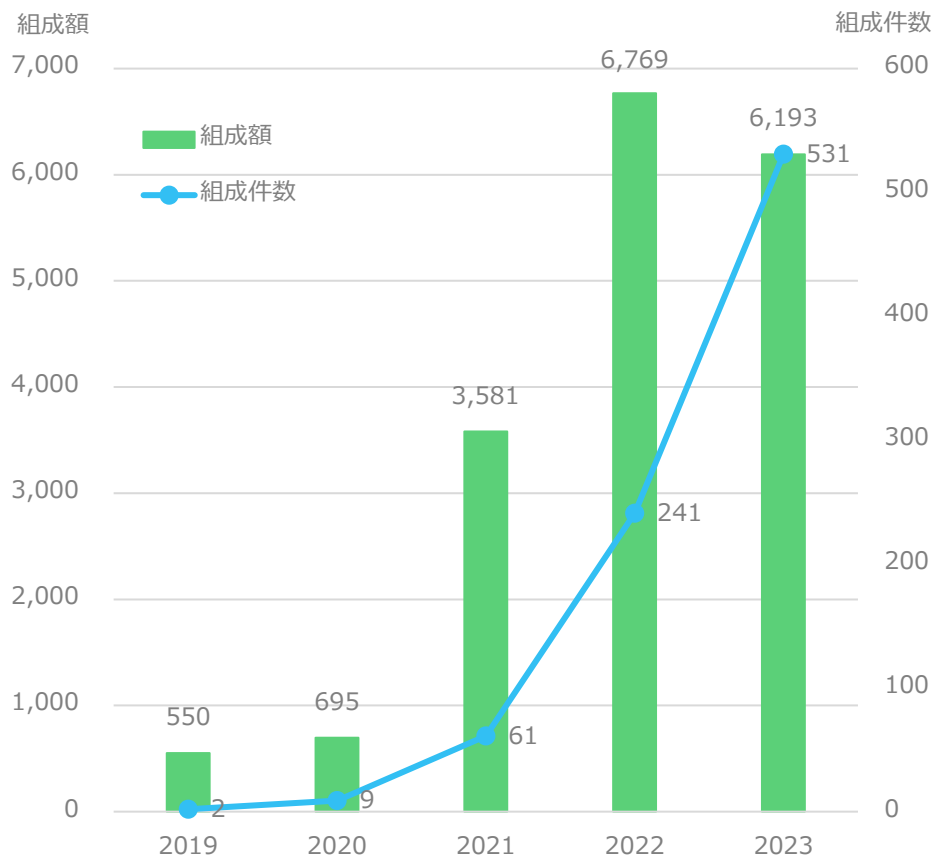


\*借り手セクター分類において、データベース上1番目に記載されたセクターを基に分類。1番目に「その他」とあり、その他特定のセクターも記載されている場合には、2番目に記載されたセクターに分類

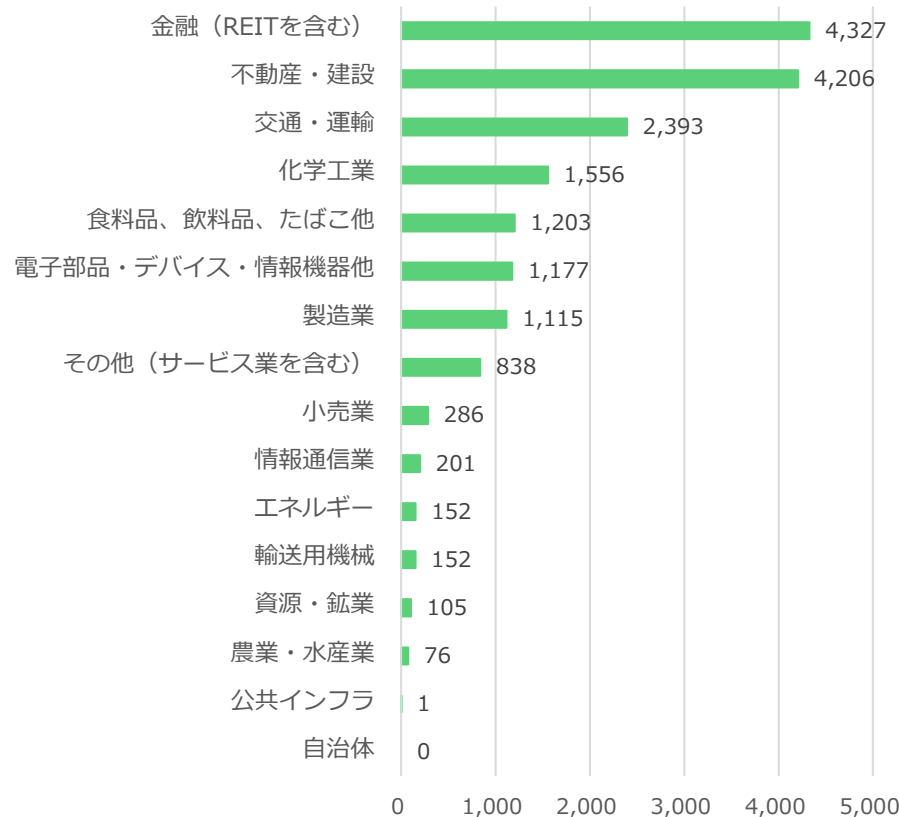
# 国内のサステナビリティ・リンク・ローン組成動向

- 2023年12月末時点で国内の組成額は前年同時期比で91%程度と減少傾向にあり、件数は220%と増加傾向にある。ただし、借入額の非開示での案件が増加しており、組成額も実態としては伸びていると推測される。
- 業種別には世界と比較し製造業の割合が低い一方、日本の特徴として不動産・建設、交通・運輸が多い。

組成額推移（億円）



借り手業種別累積組成額（億円）



\*金額情報が非開示案件（349件、内2023年234件）は件数のみカウント

出所 環境省，グリーンファイナンスポータル（2023年12月18日時点）